

## 不耕起栽培法によるお米作りの概要

農薬や化学肥料をふんだんに使い過保護に甘やかして育てた稲から取れた弱いお米と、不耕起栽培での農薬・化学肥料無使用による野生化した強い稲から取れた安全な美味しいお米のどちらを選びますか！！！！

### 不耕起米について（生物資源型農業）

耕さない田んぼの生き物いっぱいの中で育った安全・安心・美味しいお米です。

このお米が穫れる田んぼでは、土を耕さず苗を植え育てます。

すると、たくさんの藻類や小さな生き物たち、タニシやドジョウ、クモやトンボ、カエルなどがイネと一緒に生命を育みます。鳥も集まります。

生き物が安心して生きられる、安全な田んぼです。藻類はたくさんの酸素を出し、生命を支えます。この田んぼはメタンガスの発生も少なく、地球温暖化を抑えています。

この田んぼに秋から翌年の稲刈り前まで水を張ると、イトミミズなどがたくさん増え、その排泄物が草の種子を覆って、除草剤を使わなくても草が生えるのを減らし、さらに自然の肥料となって化学肥料を使用しないでイネが立派に育つのです。

しかも藻類や生き物たちは、水を浄化し、お米1袋当り50tもの水をきれいにしているようです。

このお米を召し上がると、たくさんの生き物たちの生命が守られる「田んぼの生きものトラスト」が皆さんの食卓から実現します。（日本不耕起栽培普及会会長：岩澤信夫）

### 耕さない田んぼの1年

秋	稲刈り 秋起こしをしない 秋ぬかを撒く 水があるところでは田んぼに水を張る (冬期湛水)	初夏	イネの株が開帳型になる 赤とんぼが飛び立つ クモや昆虫が増える カエルたちは田んぼ周辺に散らばる
	冬		渡り鳥が集まる
早春		塩水選、種まき、苗作り 苗の葉っぱが2枚半になったら寒さの中で育てる 春起こしをしない	秋
	春	代かきをしない（半不耕起は表面だけ土をかき混ぜる） 苗の葉っぱが5枚半を過ぎたら田植えをする 田んぼではカエルやオタマジャクシ、イトミミズがたくさん	

日本不耕起栽培普及会 法人会員 クリーンサプライ株式会社

〒180-0035 東京都府中市四谷1-1-1-103

電話 042-340-5077 FAX 042-362-4116

E-mail xsrfj169@ybb.ne.jp